



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2538回例会

2018.07.03(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564
URL www.izuchuo-rc.org
写真：旭滝の柱状節理（伊豆半島ジオパーク）

2018-19
RI 会長 バリー・ラシン ガバー 星野喜忠
会長 古藤田博澄 幹事 水谷隆一
会報委員会 土田 哲・長友範充

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱 君が代・我らの生業

会長挨拶

会長 古藤田博澄

インスピレーションになる



「一年の計は元旦にあり」
のことわざの意味するところは『一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だ』ということですから、クラブにとっ

て「2018-19年度の計は今日にあり。」ということが言えるのではないのでしょうか。

私は、これまで職業奉仕や奉仕の理念について色々な切り口で皆さんにお話してきましたが突き詰めれば、これは私の持論ですが先人たちの商売への心得である「三方よし」につきると捉えています。

売り手よし、買い手よし、世間よしの心がしっかりと自分の中で育っていけばきっと人生も商売も悪い方向にはいかないだろうという信念を大事に、心を引き締めて。この一年の会長職を務めてまいりたいと思います。

前年度の一年間、長友さんから、いわゆるクラブ奉仕の在り方や活動の進め方、記録の仕方、そして何よりも『行動することの意義』を学びました。当然のことですが私は長友さんではないので、とても同じことはできませんが自分なりに咀嚼したものを活かして『自分らしく行動』していきたいと考えています。長友さん一年間お疲れさまでした。と同時に多くの学びの機会を与えていただいたことに『感謝』の気持ちをこの場を借りてお伝えしたいと思います。「本当にありがとうございました」。

さて、この後の方針発表は、お手元の計画書にする

された私の方針、それから年間プログラムについて幹事から発表させていただきますのでよろしくお願いし

ます。それでは、一年間よろしくお願いいたします。

出席報告

委員長 土屋雄三

	出席総数	出席率	メークアップ*	修正出席率
前々回	19/22名	86.36%	21/22名	95.45%
今回	19/22名	86.36%	会員総数	23名

- ・今回の欠席者：飯田鍵吾・紀平幸一・森田修史
- ・前々回のMU者：飯田鍵吾 (6/20 トンブリ RC)
中山博司 (6/20 トンブリ RC)

慶事発表

- ・入会記念日：中山博司(7/6) ・玉置 敏(7/4)

幹事報告

幹事 水谷隆一

- ・計画書は例会回数が2537回から始まりとなっていますが、手帳は2538回からで手帳が合っています。訂正をお願いします。
- ・来週は今期計画発表となります。各委員会委員長より発表していただきます。
- ・本日例会後第1回理事会を開催いたします。

〔例会変更情報〕

- ・三島 RC：7/25 (水) 呉竹 時間変更 18:30～
- ・三島西 RC：7/19 (木) 休会

□長友範充・山口和拡・土田哲・原田精治

古藤田会長・水谷幹事 1年間よろしくお祈いします。

□木内昭夫・玉置敏・雨宮演邦

長友会長お疲れ様でした。ありがとうございました。

古藤田新会長の船出にエールを送ります。

□古藤田博澄・水谷隆一

本日より新年度スタートです。至らぬ会長・幹事ですがよろしくお祈い致します。

□渡辺明彦・深沢久雄

旅行では御世話になりました。写真ありがとうございます。

卓話

今年度運営方針：会長 古藤田博澄

2018-19年度のテーマ『BE THE INSPIRATION』インスピレーションになろう！国際ロータリー会長バリー・ラシン氏曰く「ロータリーの奉仕は人びとの人生、そして地域社会を変えるものです。真に変化を生み出す奉仕をもっと実現するために、私たちは、ロータリーでの自分の役割、そして世界におけるロータリーの役割をこれまでとは違う角度でとらえる必要があります。一番は大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望を、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会そして組織全体から引き出すための『インスピレーション』となる必要があるのです。」

今年度より2620地区は分区編成替えとなり、旧第1分区5クラブと第2分区の三島・田方地区の4クラブの合わせて9クラブが静岡第1グループとしてスタートしました。この分区編成の意図するところは、まさに伊豆半島のロータリーが1つのグループとなったことで、私たち第1グループがロータリーの役割としてこの地域が直面するさまざまな課題解決に向け、あらゆるすべての人々を惹きつける『インスピレーション』となり、伊豆半島の未来のために力を結集するべく行動しよう。という機会を与えられたのではないかと捉えています。さあ「奉仕の理想に集いし友よ、友たちよ」2018-19年度の始まりです。

重点項目

- 新たなグループのスムーズな定着を目指すために、9クラブの交流を計って知り合いを広めていく。
- 2019年9月の米山記念館創立50周年に向け、記念館を盛り上げていく。
- 2020年100周年を機に先人の教えをあらためて学ぶ好機としていく。
- 伊豆総合高校ならびにIACの支援をしていく
- 「入会したい 会員であり続けたい」と思えるクラブとしていく



親愛なるロータリーの支援者、そしてロータリーリーダーの皆さま

本日は2018-19ロータリー年度の初日、共にロータリーの新たな役割に取り組む最初の日です。また、各役割の前任者たちからリーダーシップのバトンを受け取り、後任となる人たちにバトンを渡す準備を始める日です。

私たちが職務を全うし1年後に退任する頃には、クラブや地区はさらに大きく、強く、効果的で＝となり、ロータリーに全力をつくし、その価値をよりいっそう高めていることでしょう。

ロータリーの役割におけるリーダーシップは、その性質から、リレー競争によくたとえられます。それは個人競技ではなく、チームとして行うものです。私も含め、今年度のリーダーとなられた皆さまが一つのチームとなるのです。私たちは同じ目的をもっています。それはロータリーの奉仕によって世界を変えること。一つひとつのプロジェクト、クラブ、そして地域社会の力によって変えていくのです。

今年のロータリー年度のテーマは「インスピレーションになろう」です。私は長年にわたり、ロータリアンが活動を通じて真に意欲を高めていく姿を見てきました。奉仕を通じて最も大きな影響をもたらす人とは、必ずしも多くのリソース、豊かな経験、または幅広い人脈をもつ人ではありません。大きな影響を生むのは、インスピレーションを得た人たちです。何かをした経験、見た経験、または誰かに会った経験など、その経験で心に火がともされ、奉仕のインスピレーションを得たのです。

今年度、ご自身の中にインスピレーションを見出すだけでなく、人びとへのインスピレーションとなってください。奉仕に意義を見出し、影響を生み出す者としての自己を認識し、さらに多くを成すことに意欲を燃やすロータリアン同士で力を合わせ、力強いクラブと地区を築いていきましょう。情熱をもって模範となり、現在よりもはるかに堅実な未来へとロータリーを導いてください。

私も皆さまも、また世界各地のガバナー、クラブ会長、ロータリー役員は皆、本ロータリー年度のために選ばれたわけです。私たちは、目下の活動を遂行する最善の人材としてロータリアンの仲間から信を置かれ、そして選ばれました。私はこれからの12カ月間、力の限り専心努力する所存です。皆さまにもそうしていただくと信じております。「インスピレーションになろう」のテーマを、共に実現しましょう。

心を込めて

2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン